

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

| | | | |
|-------|---------------|------|----------------|
| 受診施設名 | 桃陵保育園 | 施設種別 | 保育所 (旧体系：) |
| 評価機関名 | 一般社団法人京都府保育協会 | | |

平成 29 年 2 月 14 日

| | |
|---------------|--|
| 総 評 | <p>1965年に伏見の地に開園し、キリスト教精神を保育の根幹とした、地域と共に50年の歴史を積み重ねて来られた保育園です。開園当初は現在の桃陵乳児保育園にて乳幼児共に過ごしていましたが、地域の要望に応える形で幼児部として1973年に現在の場所に建てられました。</p> <p>保育の理念として園主題「共に生き、共に育つー平和を見つめてー」を掲げ、それに基づき「あそぶ・想像する」「個性を生かす」「ともに生きる」を3つの保育目標とし、一人ひとり個性を大切に、子どもたちの思いを丁寧に受け止める保育を実践しています。</p> <p>クリスマスのページェントで作られた子どもたちの創作物である羊小屋、宿屋、馬小屋は、行事が終わったあとも、継続して遊ぶことができるよう保育室に置かれ、遊びが深まっている様子がありました。また、隣接する広大な公園で拾った木の实を使ったり、自然物を多く使った造形作品などは、子どもたちが抱いたイメージが具現化され、保育室や廊下などに大切に飾られています。</p> <p>保護者は、送迎時や「ねえ、みて！みて！展」で、子どもたちの思いや感じたことを表出している絵画や造形作品に触れ、日々の保育の中で主体的に遊びに向かう子どもの様子を共有できるようにしています。</p> <p>職員は、経験年数の多い職員が多いことから、継続して働くことができる環境整備に努めていることが伺えます。また、職員間の人間関係についても、食事会などを通して親睦を図り風通しの良い環境となるよう配慮しています。</p> <p>今回、第三者評価受診に際して保育内容のマニュアル化等にも取り組んでいます。次の世代へ、今ある保育内容が継承するよう取り組んでいます。</p> |
| 特に良かった点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域子育て支援事業として基幹ステーション・児童館と協力し秋まつりや子育て講演会、おもちゃつきなどを実施しています。また、「南浜小学校区内」の小中学校、保育園、幼稚園、各種団体が連携したネットワークがあり、年4回会議を開催し、クリーンキャンペーンや小学校訪問など地域に根ざした活動を行っています。 ・ 各保育室には、手作りの玩具や子どもたちの絵画や造形作品が数多くあり、子どもたちの過ごす環境が楽しく温かいものになるよう配慮しています。子どもたちと職員が共同で作る創作物は、子ども視線を意識した高さや遊び心に配慮しており、子どもの自発性を引き出す工夫が感じられます。 ・ 子どもへの関わりは丁寧で、その子の思いや考えを聞き出すとする、子どもの気持ちを尊重した保育を心がけています。 |
| 特に改善が望まれる点(※) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある研修の基本方針や体制を明文化し、個別の職員計画に落とし込むとより良いでしょう。 ・ 不審者侵入時における対応方法を職員間で、研修などで取り組まれるとより良いでしょう。 |

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

| | |
|-------|---------------|
| 受診施設名 | 桃陵保育園 |
| 施設種別 | 保育所 |
| 評価機関名 | 一般社団法人京都府保育協会 |
| 訪問調査日 | 2017年2月14日（火） |

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------------|--------------------------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| I-1 保育の理念・基本方針・目標 | I-1-1 (1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。 | ① 保育の理念が明文化されている。 | B | A |
| | | ② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。 | B | A |
| | I-1-1 (2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。 | ① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。 | B | A |
| | | ② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。 | B | A |
| I-2 計画の策定 | I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | ① 中・長期計画が策定されている。(非該当) | 非該当 | 非該当 |
| | I-2-1 (2) 保育の計画が適切に策定されている。 | ① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている | B | A |
| | | ② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。 | A | A |
| | | ③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。 | A | A |
| | | ④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。 | A | A |
| | | ⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。 | A | A |
| I-3 管理者の責任とリーダーシップ | I-3-1 (1) 管理者の責任が明確にされている。 | ① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。 | A | A |
| | | ② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | B | A |
| | I-3-1 (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | ① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。 | A | A |
| | | ② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。 | A | A |

[自由記述欄]

・保育の理念として園主題を掲げており、それは保護者に配布する共に、各保育室への掲示やクラス便りに年間のねらいと共に明示し、職員及び保護者への周知に努めています。また、51年のあゆみを掲示しており、園の歴史を伝え、園の方針を理解してもらえるよう取り組んでいます。

・保育課程は、年齢別職員会議で話し合った内容をもとに、全体職員会議を2回開催し、1回目は素案の作成、2回目で細かな内容まで考慮して編成しています。その保育課程をもとに年間指導計画を作成し、毎年年間テーマを決め、それに基づいて短期指導計画を作成しています。それらの評価・反省は毎月実施しており、次の計画に反映するよう努めています。

・遵守すべき法令関係を法令遵守規程として職員に配布し周知にしています。

・月2回全体職員会議とチーフ会議を、月1回各委員会会議として統合保育研究会(障がい児保育研究会)や給食委員会などを開催し、管理者と共に職員が話し合い、園の方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいます。また、法人本部が発行する規程関係のマニュアルブックによる法律の改正や法令等に関する書類整備や、会計なども法人本部で作成された予算をもとに組んでおり、業務の効率化を図っています。

II 組織の運営管理

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-------------------------------|------------------------------------|--|--|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| II-1 経営状況の把握 | II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | ① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。 | B | A |
| II-2 人材の確保・養成 | II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。 | ① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。 | B | A |
| | | II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | ① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。 | B |
| | II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | ② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。 | B | A |
| | | ① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。 | C | B |
| | | ② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。 | C | B |
| | II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。 | ③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。 | B | A |
| | | ① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。 | C | A |
| | II-3 地域との交流と連携 | II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | ② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。 | B |
| ① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。 | | | B | A |
| ② 事業所が有する機能を地域に還元している。 | | | B | A |
| II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | | ③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | C | B |
| | ① 必要な社会資源を明確にしている。 | A | A | |

【自由記述欄】

・法人の三カ年計画をもとに、地域性や園の状態を反映させた中長期計画を作成しています。また、必要な人材に関する具体的な内容を職員個別の自己評価項目に盛り込み、園がどのような職員として育てほしいのかを明確にしています。シフト表や休暇取得については、職員間で調整し決めるようにしており、休憩や有給休暇を取得しやすい環境になるよう配慮しています。

・職員に対する研修を、年4回は受講するようしており、研修内容は報告書を作成し職員間で共有できるようにしています。また、法人全体で新任研修・管理者研修・中堅研修などを実施しています。今後は、今ある研修の基本方針や体制を明文化し、個別の職員計画に入れるとより良いでしょう。

・実習生の受け入れに対するマニュアルが整備されており、職員にも周知されています。また受け入れ計画があり、実習生の受け入れ体制を整備しています。

・地域子育て支援事業として基幹ステーション・児童館と協力し秋まつりや子育て講演会、おもちつきなどを実施しています。また、「南浜小学校区内」の小中学校、保育園、幼稚園、各種団体が連携したネットワークがあり、地域内での結びつきが維持向上するよう取り組んでいます。それらの取り組み内容は写真と共に記録されています。

・ボランティア受け入れのマニュアルは整備中ですが、現在受け入れをしていません。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------------|-------------------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス | Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | ① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。 | A | A |
| | Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | ① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。 | B | A |
| | | ② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。 | B | A |
| Ⅲ-2 サービスの質の確保 | Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。 | ① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。 | C | A |
| | | ② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。 | B | A |
| | Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。 | ① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている | A | A |
| | | ② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | B | A |
| | | ③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。 | A | A |
| Ⅲ-3 サービスの開始・継続 | Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。 | ① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。 | B | A |
| | | ② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。 | A | A |
| | Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。 | ① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。 | B | A |

[自由記述欄]

・苦情解決の仕組みが整備されており、保護者に周知しています。寄せられた苦情や要望に対しては、職員会議やチーフ会議を開催し迅速な対応に努め、それらの内容は記録され職員間で共有しています。また、内容によっては保護者に対応について配布しています。

・初めての第三者評価受診ですが、サービス評価委員会を設置し、マニュアルや体制の整備に努め、自己評価の内容を運営面の改善に活かしています。

・職員による保育内容の自己評価を実施し、評価項目は園として職員に取り組んでほしい内容であり、振り返る事で保育の質が向上するよう工夫しています。また、その内容と次年度への思いを個別面談用紙に記入し、それらをもとに管理者との面談を実施しています。

・転園の際に、保育要録を転園先に送付しています。また、幼児の場合は個人支援計画も併せて送付しています。

IV-1 子どもの発達援助

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|------------------|------------------|--|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-1 子どもの発達援助 | IV-1-(1) 健康管理・食事 | ① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している | A | A |
| | | ② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | B | A |
| | | ③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている | B | A |
| | | ④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している | A | A |
| | | ⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている | A | A |
| | | ⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している | B | A |
| | | ⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている | A | A |
| | IV-1-(2) 保育環境 | ① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している | C | A |
| | | ② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている | B | A |
| | IV-1-(3) 保育内容 | ① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている | B | A |
| | | ② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している | A | A |
| | | ③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている | B | A |
| | | ④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている | A | A |
| | | ⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている | B | A |
| | | ⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している | A | A |
| | | ⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している | A | A |
| | | ⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している | A | A |
| | | ⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | - | - |
| | | ⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる | B | A |
| | | ⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる | B | A |

【自由記述欄】

・健康管理マニュアルを整備し、子どもの健康状態に対する留意点や対応などの周知を図ると共に、入園から就学まで保護者との連絡ノートがあり、保護者との情報交換を行っています。3歳以上児は年2回、歯科健診は2歳以上児に年1回実施し、診断結果を保護者に配布しています。

・食育計画を作成し、園庭やプランターによる野菜栽培に取り組み、種や苗から収穫まで体験し、クッキング保育や収穫感謝祭では実際に育てた食材を利用して、子どもたちが実際に食材に触れる機会を設けています。給食の食材は国産を中心に選び、素材の良さを生かした給食を心がけています。また、食を考える懇談会を開始し、保護者にも乳幼児期の食への興味、関心を持てるよう工夫しています。

・隣接した公園では、身体を使って思いっきり使って遊べる環境があり、毎日外遊びの時間を設けています。また、室内では隣接する公園で取れた木の実などの自然素材を利用するなど、制作遊びを楽しんでいます。身体を動かしたり、集中して制作あそびに没頭する時間を設け、子どもたちの生活が静と動、バランスが良くなるよう保育を行っています。

・各保育室には、手作りの玩具や子どもの作品が多くあり、保育士の思いや子どもたちの作品から、温かさの伝わる環境になるよう取り組んでいます。また、手作り玩具は子どもたちの育ちに応じた内容です。子どもたちの造形作品は所せましと保育室内に配置されていますが、子どもの目線で見渡せるよう高さなども配慮し、子どもが自発的にあそびたい環境となるような楽しい空間を心がけています。朝のあそび環境では、子どもが年齢に応じた色々な遊びを選べるよう配慮しています。

・豊富なりサイクル素材や自然素材を利用し、子どもたちの創作意欲を掻き立て、工夫する喜びを味わう体験ができるよう、壁面や床に自由に絵を描いたりする環境などがあり保育者も自発的な子どもの思いを尊重した保育を心がけています。また、出来た作品を保育室や廊下などに飾ることで、他者に見てもらった経験を通じて自己肯定感を高める機会も提供できるよう配慮しています。

・子どもへの関わりは丁寧で、その子の思いや考えを聞き出そうとする、子どもの気持ちを尊重した保育を心がけています。その日の子どもたちのやりたい活動が実現できるような乳児、幼児クラス間の協力体制があります。

IV-2 子育て支援

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|---------------|---------------------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-2 子育て支援 | IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援 | ① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている | A | A |
| | | ② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている | A | A |
| | | ③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている | A | A |
| | | ④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている | B | A |
| | | ⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている | A | A |
| | | ⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。 | A | A |
| | IV-2-(2) 一時保育 | ① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている | 非該当 | 非該当 |

[自由記述欄]

・年1回以上、保護者との個人懇談を実施しています。個人の発達記録や健康状態、子どもの姿、個人面談記録が作成され、職員間で情報が共有出来るよう取り組んでいます。

・クラス別の保護者懇談会を年2回行っています。また、年2回各年齢ごとにフリー参観(参加型)の機会もち、保育の内容を知ってもらう機会として、共に子どもの成長を喜びあえる関係作りに努めています。

・一時保育は実施していません。

IV-3 安全・事故防止

| 評価分類 | 評価項目 | 評価細目 | 評価結果 | |
|-----------------|-------------|---|------|-------|
| | | | 自己評価 | 第三者評価 |
| IV-3 安全・事故防止 | (1) 安全・事故防止 | ① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている | C | A |
| | | ② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている | B | A |
| | | ③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている | B | A |
| | | ④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | B | A |
| | | ⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている | C | B |

[自由記述欄]

・給食衛生管理マニュアル、食中毒発生時対応マニュアル、事故・災害発生時対応マニュアルが整備され、それに基づく対応を行っています。

・ヒヤリハット報告書、安全管理点検表があり、保育園全体でその情報を共有し、事故防止に向けた取り組みを行っています。不審者対応マニュアルも整備しています。今後は不審者侵入時における対応方法を職員間で研修などで取り組まれるとより良いでしょう。